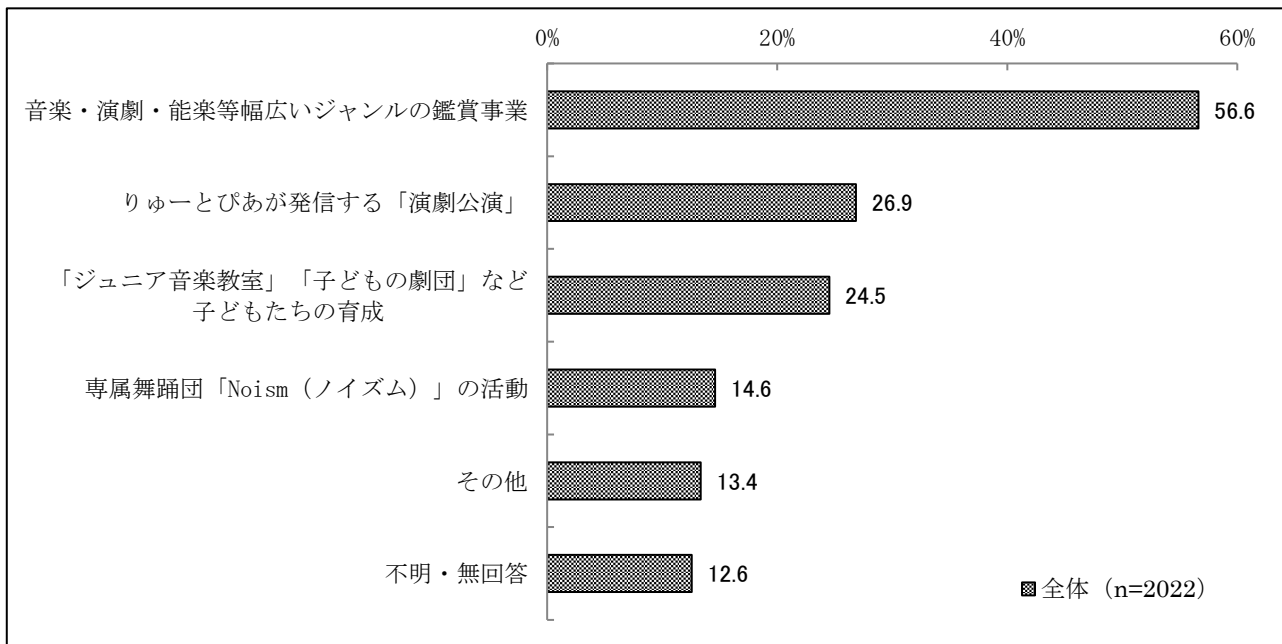


2. 新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の文化事業について

（1）「りゅーとぴあ」が効果をあげていると思う活動

問6 新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の活動により、新潟市民が文化に触れる機会が増え、豊かな市民文化の形成に効果をあげていると思う活動は何ですか。（〇はいくつでも）



— 「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」が5割以上 —

【全体結果】

「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」（56.6%）が5割を超え、割合が最も高い。次に続く「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」（26.9%）の倍以上の割合で、突出している。「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」など子どもたちの育成」（24.5%）が2割半ば、「専属舞踊団「Noism（ノイズム）」の活動」（14.6%）が1割半ばとなった。

【属性別結果】（図2-1参照）

① 地区別

「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」は、全ての区で割合が最も高く、西区（61.1%）では6割を超えた。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」は、西蒲区（32.2%）、西区（29.4%）で割合がやや高い。「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」など子どもたちの育成」は、西区（26.5%）、東区（26.3%）、北区（26.1%）で、割合がやや高かった。「専属舞踊団「Noism（ノイズム）」の活動」は、南区（7.3%）で割合が最も低く1割に満たなかった。

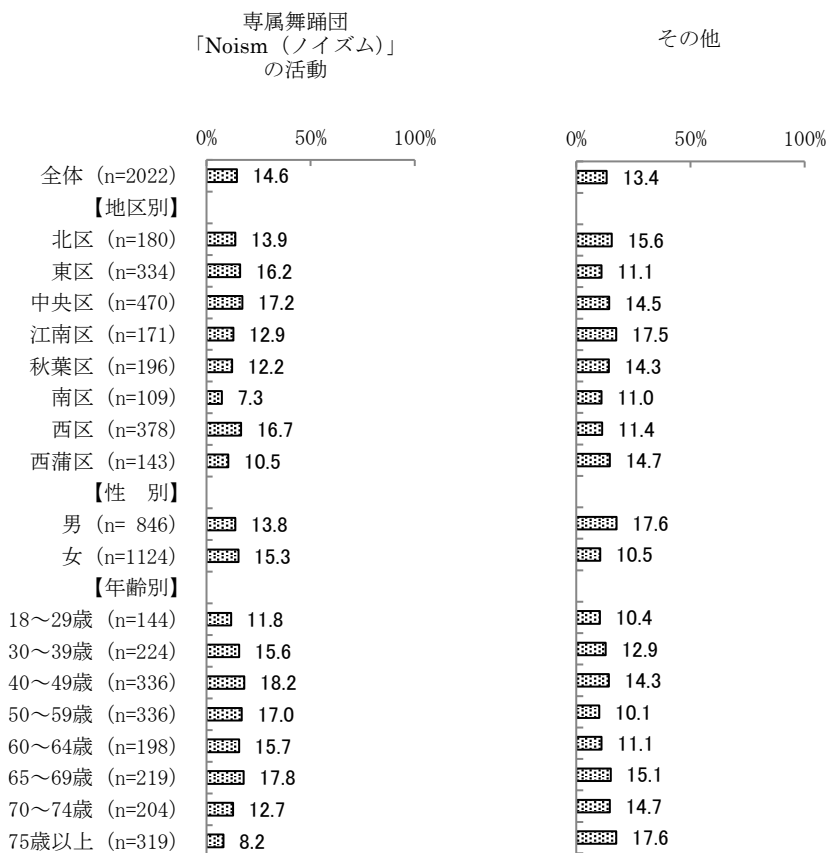
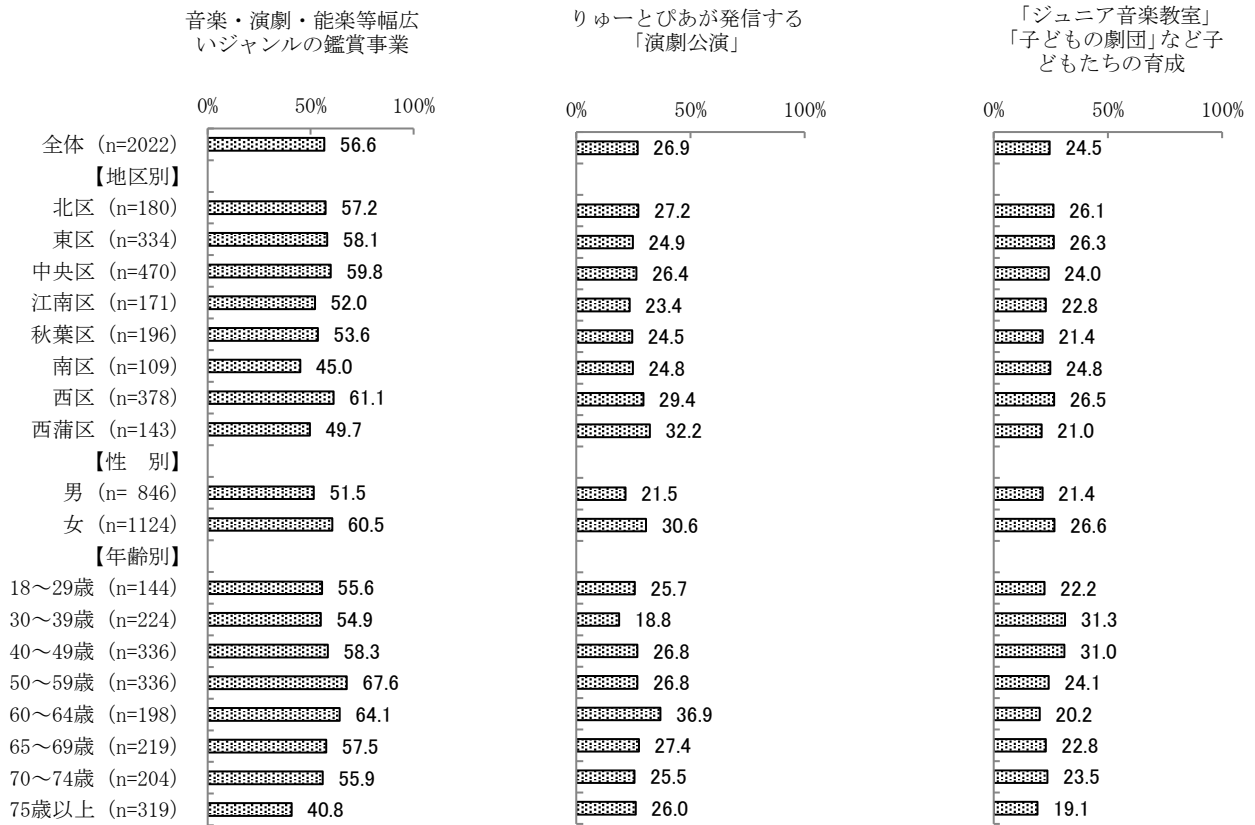
② 性別

「その他」以外、いずれの項目も、男性と比較して女性の割合が高い。

③ 年齢別

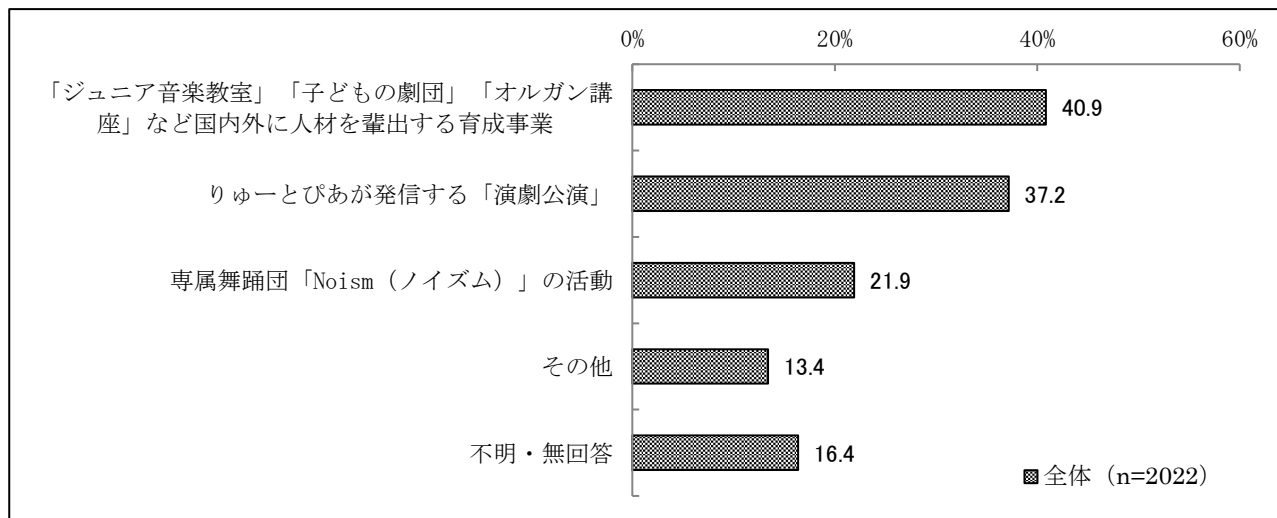
「音楽・演劇・能楽等幅広いジャンルの鑑賞事業」は、50～59歳（67.6%）、60～64歳（64.1%）で割合が高く、6割を超えた。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」は、60～64歳（36.9%）で割合が最も高い。「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」など子どもたちの育成」は、30～39歳（31.3%）、40～49歳（31.0%）で割合が高く、3割を超えた。「専属舞踊団「Noism（ノイズム）」の活動」は、75歳以上（8.2%）で割合が最も低く1割に満たなかった。

図 2-1 「りゅーとびあ」が効果をあげていると思う活動（地区別/性別/年齢別）



(2) 「りゅーとぴあ」が今後も積極的に進めていくべきと思う活動

問7 りゅーとぴあが全国や世界に発信している活動のうち、今後も積極的に進めていくべきと思う活動は何ですか。(〇はいくつでも)



— 「国内外に人材を輩出する育成事業」が4割以上 —

【全体結果】

「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」「オルガン講座」など国内外に人材を輩出する育成事業(40.9%)の割合が最も高く4割を超えた。次に「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」(37.2%)が高い。「専属舞踊団「Noism (ノイズム)」の活動」は約2割となった。

【属性別結果】(図2-2参照)

① 地区別

「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」「オルガン講座」など国内外に人材を輩出する育成事業」は、西蒲区以外の区で割合が最も高かった。北区(43.9%)、中央区(43.2%)、西区(42.9%)で割合がやや高かった。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」は、西蒲区(44.1%)では割合が最も高く、4割を超えた。また、北区(42.2%)でも4割を超えた。

「専属舞踊団「Noism (ノイズム)」の活動」は、西区(26.7%)で割合が最も高かった。

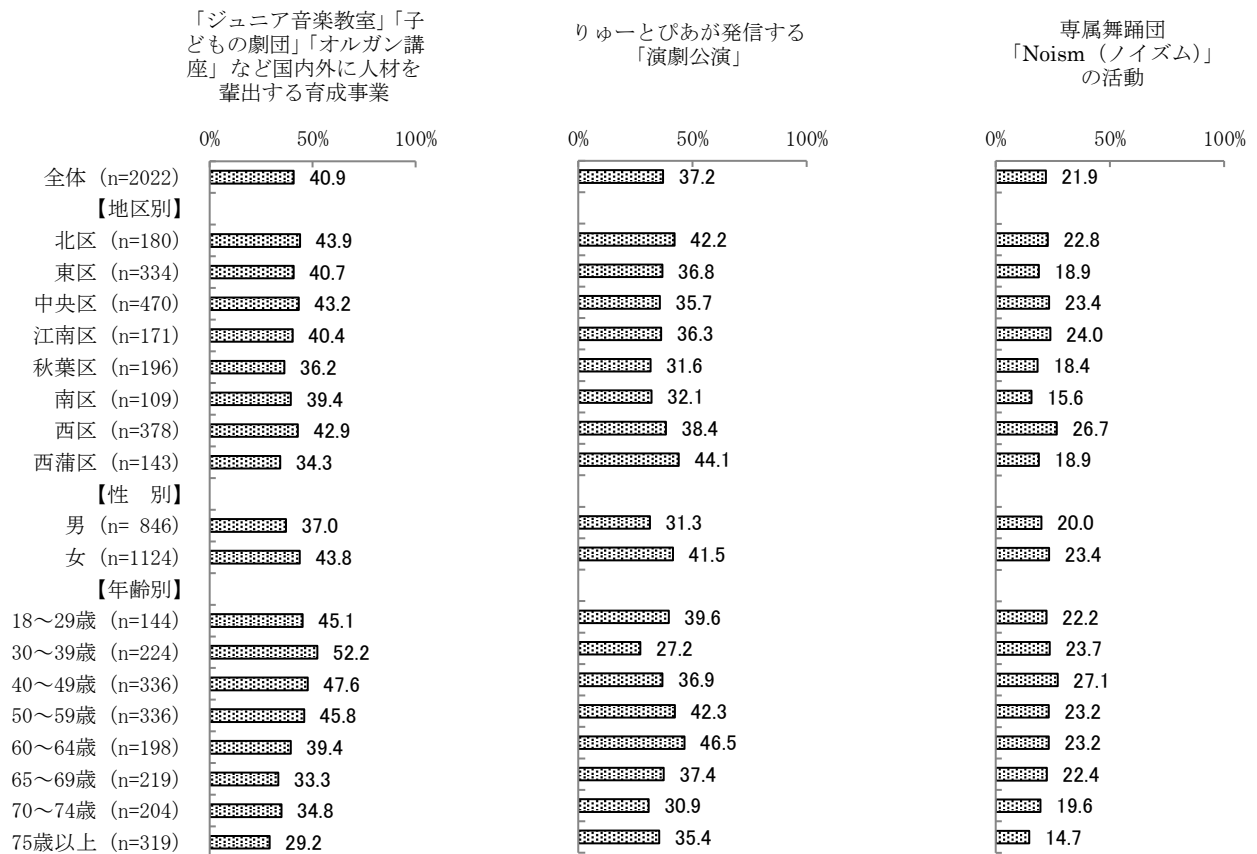
② 性別

「その他」以外、いずれの項目も、男性と比較して女性の割合が高い。

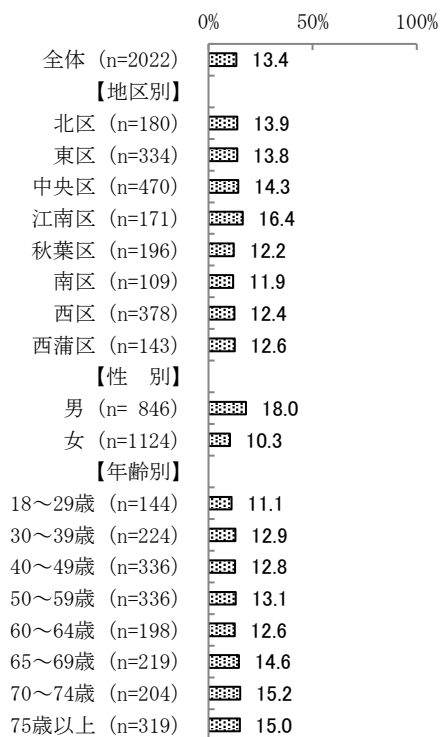
③ 年齢別

「ジュニア音楽教室」「子どもの劇団」「オルガン講座」など国内外に人材を輩出する育成事業」は、30～39歳(52.2%)で割合が最も高く、5割を超えた。「りゅーとぴあが発信する「演劇公演」は、60～64歳(46.5%)、50～59歳(42.3%)で割合が高く4割を超えた。「専属舞踊団「Noism (ノイズム)」の活動」は、75歳以上(14.7%)で割合が最も低く1割半ばとなった。

図 2-2 「りゅーとぴあ」が今後も積極的に進めていくべきと思う活動（地区別/性別/年齢別）

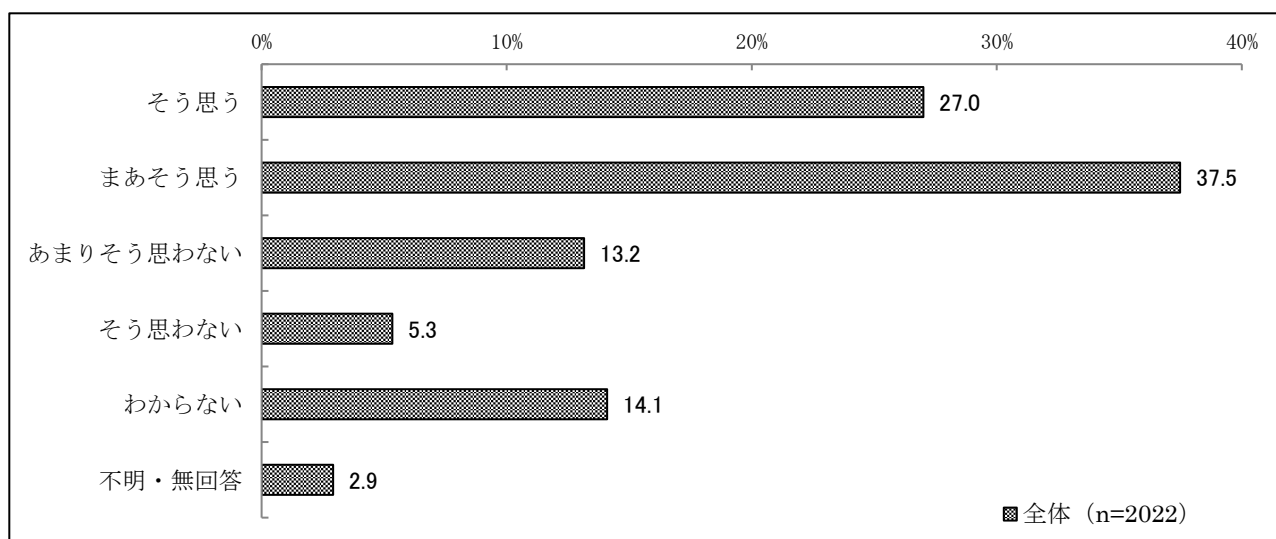


その他



(3) 「リゅーとぴあ」の次世代への継承

問8 リゅーとぴあは、次世代に伝えたい新潟になくてはならないものだと思いますか。
(○は1つだけ)



— 『そう思う (なくてはならないと思う)』が6割強 —

【全体結果】

「そう思う」(27.0%)、「まあそう思う」(37.5%)を合わせた『そう思う』(64.5%)は、6割強となった。「あまりそう思わない」(13.2%)、「そう思わない」(5.3%)を合わせた『そう思わない』(18.5%)は、2割に満たなかった。

【属性別結果】(図2-3参照)

① 地区別

『そう思う』の割合は、西区(72.8%)で最も高く、唯一7割を超えた。江南区(57.3%)で最も低い。

『そう思わない』の割合は、江南区(22.2)で最も高く、西区(12.7%)で最も低い。

② 性別

『そう思う』の割合は、男性(57.2%)と比較して女性(69.7%)の割合が高い。

③ 年齢別

『そう思う』の割合は、40~49歳(69.6%)で最も高く、75歳以上(57.4%)で最も低かった。

『そう思わない』の割合は、30~39歳(22.8%)で最も高かった。

図 2-3 「りゅーとぴあ」の次世代への継承（地区別/性別/年齢別）

